

令和5年度 危険物取扱者試験案内

問い合わせ先及び
郵送による申請先

(一財) 消防試験研究センター栃木県支部
〒320-0032 宇都宮市昭和1-2-16
栃木県自治会館1階
電話 028-624-1022 FAX028-624-1658

試験当日の注意事項

- 1 試験会場には、写真を貼った受験票を必ず持参してください。
※写真が貼られていない場合は、受験できません。
写真についての詳細は、3ページを参照してください
※受験票が届かなかった場合は、(一財) 消防試験研究センター栃木県支部にその旨の連絡を済ませ、写真を忘れずに持参すること。
- 2 上履きを持参してください。(小山会場を除く)
- 3 試験会場は禁煙、車の乗入れも厳禁(周辺の店舗等への無断駐車は絶対にしない)です。
トラブルの発生した場合は、退場を命ずることがあります。
- 4 試験開始30分前に入室してください。試験監督員から試験における注意事項の説明があります。
- 5 試験室では携帯電話の電源を切ってカバン等にしまってください。腕時計も外してカバン等にしまってください。電源を切っても作動する機能のものは、アラーム等の音が発生しないようにしておいてください。
- 6 試験会場には、試験に関する電話照会をしないでください。
- 7 試験会場周辺での試験に関する有料サービス等は、(一財) 消防試験研究センター栃木県支部とは一切関係がありません。
- 8 事故等により会場や日程を変更する場合には、栃木県支部からの緊急情報又は重要なお知らせとしてホームページに掲載します。特に、気象庁が発表する特別警報等の防災情報に対処して試験日時を変更する場合の緊急情報は、試験開始前の2時間前までに掲載します。

試験案内は最後までよく読み、記載されている内容に同意した上でお申し込みください。

申し込まれた方は、試験案内に記載されたすべての事項に同意されたものとさせていただきます。



(一財)消防試験研究センター

[https:// www.shoubo-shiken.or.jp/](https://www.shoubo-shiken.or.jp/)

インターネットによる受験申請(電子申請)ができます。
詳細は本文1ページを参照し、上記アドレス・QRコードから
ホームページをご覧ください。



消防法（昭和23年法律第186号）第13条の5第1項の規定により栃木県知事から委任された、危険物取扱者試験を次のとおり実施します。

1 試験日時、種類、受験地その他

	第 1 回	第 2 回	第 3 回
試験日	令和5年 6月11日（日）	令和5年 11月12日（日）	令和6年 3月3日（日）
試験室入室時間 試験開始時間	午前9時00分 午前9時30分		
願書申請期間 電子申請	令和5年 4月7日（金） ～4月18日（火）	令和5年 9月8日（金） ～9月19日（火）	令和6年 1月6日（土） ～1月16日（火）
書面申請	4月10日（月） ～4月21日（金）	9月11日（月） ～9月22日（金）	1月9日（火） ～1月19日（金）
合格発表予定日	令和5年 6月30日（金）	令和5年 12月1日（金）	令和6年 3月22日（金）
試験の種類	甲種、乙種（第1類～第6類）、丙種 [15免状の種類と取扱うことができる危険物]参照		
受験地 試験実施会場は 下記[2試験実 施会場]参照	宇都宮市 足利市 小山市 栃木市 那須塩原市 真岡市	宇都宮市 足利市 小山市 栃木市 那須塩原市 真岡市	「宇都宮市」のみで 行います。

※ いったん申請した後の試験日及び受験地の変更はできません。（欠席扱いとなります。）

2 試験実施会場

受験地	試験会場	所在地
宇都宮市	作新学院高等学校	宇都宮市一の沢1-1-41
足利市	白鷗大学足利高等学校	足利市伊勢南町3-2
小山市	白鷗大学大行寺キャンパス	小山市大行寺1117
栃木市	栃木工業高等学校	栃木市岩出町129
那須塩原市	那須清峰高等学校	那須塩原市下永田6-4
真岡市	真岡工業高等学校	真岡市寺久保1-2-9

※ 受験願書の「受験地」欄には、太枠内の地名を書いてください。

※ 試験会場はすべて禁煙、車の乗り入れも厳禁です。また、会場周辺に無断駐車はしないでください。

3 受験資格

- (1) 甲種危険物取扱者試験 受験資格が必要です。（[16甲種危険物取扱者試験の受験資格]参照）
- (2) 乙種・丙種危険物取扱者試験 受験資格はありません。

4 試験手数料 いったん払込みされた試験手数料は、お返しできません。

甲 種	乙 種	丙 種
6,600円	4,600円	3,700円

5 書面による受験申請 第3回の受付は、（一財）消防試験研究センター栃木県支部のみです。

(1) 申請に必要な書類及び受付場所

受験願書、受験資格・試験科目免除申請に必要な証明書、既得危険物取扱者免状のコピーを（一財）消防試験研究センター栃木県支部、又は県内の消防局及び各消防本部に直接持参して申請してください。（各消防署（分署）でも受付を行っているところがありますので、各消防本部に問い合わせしてください。）

(2) 郵送による申請は、（一財）消防試験研究センター栃木県支部までお送りください。

(3) 受験願書は、折り曲げずに郵送してください。

(4) 受付期間最終日の消印の有るものまで受理します。

(5) 受付時間

(一財)消防試験研究センター栃木県支部・県内の消防局及び各消防本部での受付時間は、申請期間(土・日・祝日を除く。)の午前9時00分から午後5時00分まで。

(6) 試験手数料の払込み **現金自動受払機(ATM)による払込みは、できません。**

試験手数料払込専用の払込用紙を使って、郵便局又はゆうちょ銀行の窓口で払込み(払込手数料がかかります。)を行い、「振替払込受付証明書(お客さま用)受験願書添付用(赤枠)」に郵便局又はゆうちょ銀行の受付局日付印を受けて、**受験願書B面試験手数料添付欄にのり付け**してください。

※ 「振替払込受付証明書(お客さま用)受験願書添付用(赤枠)」を紛失しても、当センターでは責任を負えません。

(7) 受験願書配布場所

ア (一財)消防試験研究センター栃木県支部

イ 栃木県内の消防局及び各消防本部

消 防 本 部 名	電 話 番 号	住 所
小山市消防本部	0285-39-6660	小山市大字神鳥谷1700-2
宇都宮市消防局	028-625-5500	宇都宮市大曾2-2-21
足利市消防本部	0284-41-3197	足利市大正町863
栃木市消防本部	0282-22-0119	栃木市平柳町1-34-5
佐野市消防本部	0283-22-4433	佐野市富岡町1391
鹿沼市消防本部	0289-63-1141	鹿沼市上殿町520-1
日光市消防本部	0288-21-0016	日光市豊田442-1
那須地区消防本部	0287-28-5119	大田原市中田原868-12
芳賀地区広域行政事務組合消防本部	0285-82-3161	真岡市荒町107-1
塩谷広域行政組合消防本部	0287-44-2513	矢板市富田94-1
南那須地区広域行政事務組合消防本部	0287-82-2009	那須烏山市神長880-1
石橋地区消防組合消防本部	0285-53-0509	下野市下石橋246-1

※配布は各消防署・分署でも実施しています。

ウ 書店

・ 宇都宮市

「落合書店 宝木店・東武ブックセンター・トナリエ(旧ララスクエア)店・イトーヨーカドー店」「くまざわ書店 宇都宮店(福田屋ショッピングプラザ)・宇都宮インターパーク店・アピタ宇都宮店」「喜久屋書店 宇都宮店」

・ 鹿沼市

「くまざわ書店 福田屋鹿沼店」

・ 小山市

「宮脇書店 小山店」

・ 大田原市

「TSUTAYA ハートブックス若草店」

・ さくら市

「TSUTAYA ビックワンブックスさくら店」

・ 佐野市

「宮脇書店 イオンタウン佐野店」

・ 足利市

「くまざわ書店 足利コムファースト店」

※各書店とも、土・日・祝、ア、イの時間外(百貨店、スーパーの休みを除く)にも願書が入手できます。

6 電子申請(インターネットによる受験申請)【複数受験の申請はできません】

危険物取扱者免状以外で、**証明書類等が必要な場合は書面申請**してください。

※申請期間 電子申請の申請期間は、受付開始日の午前9時00分から受付締切日の午後5時00分までです。受付期間中は、24時間対応しています。(表紙に記載されているアドレス又はQRコードからホームページをご覧ください。)

(1) 電子申請ができる試験種類

ア 既得危険物取扱者免状を受験資格要件([16甲種危険物取扱者試験の受験資格]参照)とする甲種

イ 乙種全類

ウ 丙種

(2) 再受験の電子申請

過去3年以内に受験し同じ試験種類を再度受験する場合は、証明書類等は不要で電子申請（1種類のみ）ができます。なお、入力時に前回の「受験票」若しくは受験票（控）又は「試験結果通知書」が必要です。

(3) 団体で行う電子申請

事前に（一財）消防試験研究センター栃木県支部（TEL028-624-1022）にご連絡ください。

(4) 詳細は、（一財）消防試験研究センターホームページ(<https://www.shoubo-shiken.or.jp/>)

電子申請に関する問合せ先

（一財）消防試験研究センター電子申請室 専用電話（全国共通）0570-07-1000（有料）

受付時間 午前9時00分～午後5時00分（土・日・祝日を除く。）

7 受験票 受験票に**写真を貼付し、試験会場に持参**しないと受験できません。

(1) 書面申請の受験票

試験日の約10日前に発送します。試験日の5日前になっても届かない場合は、（一財）消防試験研究センター栃木県支部（TEL028-624-1022）にご連絡ください。

(2) 電子申請の受験票

受験票は郵送されません。試験日の約10日前に申請時入力アドレスに**受験票がダウンロードできる旨のメールが送信**されますので、**受験票をダウンロード**してください。

(3) 貼付する写真

- ・受験日前、**6カ月以内に撮影したもの**
- ・カラー・モノクロどちらでも可
- ・髪が目にかからない。
- ・帽子をかぶらない（宗教上又は医療上の理由がある場合を除く。）、**サングラスをしない**。
- ・**枠なし、無背景で正面から撮影した、上三分身像のもの**
- ・**デジタルカメラで撮影されたものは、写真専用紙で印刷した鮮明な画像に限り**ます。
- ・サイズは、縦**4.5cm**×横**3.5cm**又はパスポート規格（資格申請用）
- ・裏面に、撮影年月日・氏名・年齢を記入

8 試験の方法

(1) マークシート方式の筆記試験

甲種・乙種は五肢択一式、丙種は四肢択一式で行います。

(2) 鉛筆・シャープペンシル（B又はHB）を使用します。（ボールペン・万年筆は使用禁止）

(3) 電卓・定規は使用できません。

9 試験種類別の試験科目・問題数・試験時間

種類	試験科目	略称	問題数	合計	試験時間
甲種	①危険物に関する法令	法令	15問	45問	2時間30分
	②物理学及び化学	物化	10問		
	③危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法	性消	20問		
乙種	①危険物に関する法令	法令	15問	35問	2時間00分
	②基礎的な物理学及び基礎的な化学	物化	10問		
	③危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法	性消	10問		
丙	①危険物に関する法令	法令	10問	25問	1時間15分

種	②燃焼及び消火に関する基礎知識	燃消	5 問		
	③危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法	性消	10 問		

10 試験科目の一部免除（[18 受験願書の記入要領⑬]参照）

- (1) **乙種免状を持っている者**が他の類の乙種を受験する場合は、「法令・物化」の全部を免除します。
(2) **火薬類の免状を持っている者**が、**乙種第1類・第5類**を受験する時に、**科目の免除申請をした場合**は「物化・性消」の一部を免除します。

※ 次のいずれかの免状が該当します。（コピー添付）

- ① 甲種、乙種及び丙種の火薬類製造保安責任者免状（火薬類取締法）
② 甲種、乙種の火薬類取扱保安責任者免状（火薬類取締法）

免除資格者	免除対象の試験種類	試験科目	免除内容	問題数	合計	試験時間
乙種免状の交付を受けている者	全 類	①法令	全部免除	0 問	10 問	35 分
		②物化	全部免除	0 問		
		③性消		10 問		
火薬類免状の交付を受けている者	第1類 第5類	①法令		15 問	24 問	1時間30分
		②物化	一部免除	4 問		
		③性消	一部免除	5 問		
乙種免状と火薬類免状の交付を両方受けている者	第1類 第5類	①法令	全部免除	0 問	5 問	35 分
		②物化	全部免除	0 問		
		③性消	一部免除	5 問		

- (3) **丙種を受験する者**が5年以上消防団員として勤務し、**かつ**消防組織法第51条第4項の消防学校の教育訓練のうち基礎教育又は専科教育の警防科を修了（普通教育を終了した者については同等とみなします。）し、**科目の免除申請**をした場合は燃焼及び消火に関する基礎知識を免除します。

※ 科目の免除申請に必要な証明書は、次の2つが必要です。

- ・ 5年以上消防団員として勤務したことの証明書（消防団長又は市町村長が証明するもの）
- ・ 基礎教育又は専科教育の警防科を修了（普通教育を終了）したことの証明書（消防学校長が証明するもの）

試験科目	免除内容	問題数	合計	試験時間
①危険物に関する法令		10 問	20 問	1時間00分
②燃焼及び消火に関する基礎知識	全部免除	0 問		
③危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法		10 問		

11 複数受験 【電子申請はできません。】

- (1) 乙種の試験 2種類を同時に受験できます。
(2) 受験願書 **試験の種類ごと**に提出してください。
(3) 試験時間
ア 乙種免状を持っている者 1時間10分（35分×2種類）
イ 乙種免状を持っていない者 2時間45分（1種類の試験時間2時間）＋（他の種類の試験時間45分[性消科目35分＋共通科目である法令・物化を2枚目の解答カードに転記する時間10分]）

12 合格基準

- (1) 全種類において、試験科目ごとの成績がそれぞれ60パーセント以上であること。
(2) 乙種1類又は乙種5類の受験者で試験科目の一部免除を受けた者については、免除された以外の問題で60パーセント以上の成績であること。

1 3 合格発表

- (1) 発表日の午前9時00分に(一財)消防試験研究センター栃木県支部の窓口に合格者の受験番号を公示すると共に、結果通知書を受験者全員に郵送します。なお、試験結果の合否に関する電話による問い合わせ、試験問題及びその解答に関する問い合わせには、一切応じられません。
- (2) 当センターのホームページには、発表日の正午に掲載します。
- (3) 試験会場周辺での試験に関する有料サービス等は、(一財)消防試験研究センター栃木県支部とは一切関係がありません。

1 4 試験合格後の免状交付申請について

- (1) 免状交付申請手続き

試験に合格した方の試験結果通知書には、住所、氏名等を印刷した「免状交付申請書」が付いていますので、記載内容を確認のうえ免状交付申請期日までに提出してください。(試験結果通知書と免状交付申請書は切り離さないでください。)

ア 申請手数料 2,900 円 (栃木県収入証紙を所定欄に貼ってください。)

栃木県収入証紙は、お近くのファミリーマートやローソンでお求めください。(なお、取扱いのない店舗がありますので、詳しくは、県のホームページでご確認ください。)

イ 既に危険物取扱者免状を持っている方は、その免状を提出してください。

ウ 免状返送用封筒 (定型封筒の表に住所、氏名、裏に受験番号を記入し、簡易書留郵便料金 404 円分の切手を貼ってください。)

エ 免状に旧姓併記を希望する場合は、氏名の欄にかっこ書きで旧姓を記載するとともに、戸籍抄本、旧姓が記載された住民票その他旧姓が確認できる公的機関が発行した書類を提出してください。
- (2) 申請書の提出方法

免状交付申請期日までに (一財) 消防試験研究センター栃木県支部へ持参するか郵送してください。(申請書は機械で処理しますので、表示されている折れ線以外のところでは折らないでください)

1 5 免状の種類と取扱うことができる危険物

免 状		取 扱 う こ と が で き る 危 険 物	
甲 種		すべての種類の危険物	
乙 種	第 1 類	酸化性 固 体	塩素酸塩類・過塩素酸塩類・無機過酸化物・亜塩素酸塩類・臭素酸塩類・硝酸塩類・よう素酸塩類・過マンガン酸塩類・重クロム酸塩類・その他のもので政令で定めるもの・前各号に掲げるもののいずれかを含有するもの
	第 2 類	可燃性 固 体	硫化りん・赤りん・硫黄・鉄粉・金属粉・マグネシウム・その他のもので政令で定めるもの・前各号に掲げるもののいずれかを含有するもの・引火性固体
	第 3 類	自然発火性物質 及び 禁水性物質	カリウム・ナトリウム・アルキルアルミニウム・アルキルリチウム・黄りん・アルカリ金属(カリウム及びナトリウムを除く)及びアルカリ土類金属・有機金属化合物(アルキルアルミニウム及びアルキルリチウムを除く)・金属の水素化物・金属のりん化物・カルシウム又はアルミニウムの炭化物・その他のもので政令で定めるもの・前各号に掲げるもののいずれかを含有するもの
	第 4 類	引火性 液 体	特殊引火物・第 1 石油類・アルコール類・第 2 石油類・第 3 石油類・第 4 石油類・動植物油類
	第 5 類	自己反応性物質	有機過酸化物・硝酸エステル類・ニトロ化合物・ニトロソ化合物・アゾ化合物・ジアゾ化合物・ヒドラジンの誘導体・ヒドロキシルアミン・ヒドロキシルアミン塩類・その他のもので政令で定めるもの・前各号に掲げるもののいずれかを含有するもの
	第 6 類	酸化性 液 体	過塩素酸・過酸化水素・硝酸・その他のもので政令で定めるもの・前各号に掲げるもののいずれかを含有するもの
丙 種		ガソリン・灯油・軽油・第 3 石油類(重油・潤滑油及び引火点が 130 度以上のものに限る)・第 4 石油類及び動植物油類	

1 6 甲種危険物取扱者試験の受験資格

次表に示す対象者に該当する方は、甲種危険物取扱者試験の受験資格があります。

対 象 者	大学等及び資格詳細	願書資格欄 記入略称	証明書類
[1] 大学等において化学に関する学科等を卒業した方（専門職大学の前期課程を修了した方） （別表 1 参照）	大学、短期大学、高等専門学校、専修学校 大学・短期大学・高等専門学校・高等学校若しくは中等教育学校の専攻科又は専修学校 防衛大学校、職業能力開発総合大学校、職業能力開発大学校、職業能力開発短期大学校、外国に所在する大学等 専門職大学の前期課程を修了	大学等卒	卒業証明書 又は ※卒業証書 （学科等の名称が明記されているもの）
[2] 大学等において化学に関する授業科目を 15 単位以上修得した方 （別表 2 参照）	大学、専門職大学、短期大学、専門職短期大学、高等専門学校（高等専門学校は専門科目に限る）、大学院、専門職大学院、専修学校 大学・短期大学・高等専門学校の専攻科 防衛大学校、防衛医科大学校、水産大学校、海上保安大学校、気象大学校、職業能力開発総合大学校、職業能力開発大学校、職業能力開発短期大学校、外国に所在する大学等	15 単位	単位修得証明書 又は 成績証明書 （修得単位が明記されているもの）
[3] 乙種危険物取扱者免状の交付を受けている方	乙種危険物取扱者免状の交付を受けた後、製造所等における危険物取り扱いの実務経験が 2 年以上の方	実務 2 年	※乙種危険物取扱者免状及び乙種危険物取扱実務経験証明書
	次の 4 種類以上の乙種危険物取扱者免状の交付を受けている者 ○第 1 類又は第 6 類 ○第 2 類又は第 4 類 ○第 3 類 ○第 5 類	4 種類	※乙種危険物取扱者免状
[4] 修士・博士の学位を有する方 （別表 1 参照）	修士、博士の学位を授与された方で、化学に関する事項を専攻したもの（外国の同学位も含む）	学 位	学位授与証明書、 ※学位記、修了証書又は修了証明書（学位を取得していること、かつ、化学に関する事項を専攻したことがわかるもの）

※ 証明書類のうち網掛け（ 部分）をしてある書類については、コピーしたものを添付してください。
[備考]

- [1] の高等学校及び中等教育学校の専攻科については修業年限が 2 年以上のものに限ります。
- [1]、[2] の専修学校については、修業年限 2 年以上、総授業時数 1700 時間以上の専門課程に限り認められ、証明書類として表の書類のほか次のいずれかの書面が必要になります。（ただし、表の証明書類に次の(1)又は(2)の内容が記載されている場合は、次の(1)又は(2)の書面は不要です。）
(1) 専門士又は高度専門士の称号が付与されていることを証明する書面又はその写し
(2) 専修学校の専門課程の修業年限が 2 年以上で、かつ、課程の修了に要する総授業時数が 1700 時間以上であることを証明する書面（書式例 1 を参照してください。）
- [2] の大学、専門職大学、短期大学、専門職短期大学、高等専門学校、大学院、専門職大学院等における修得単位は、卒業、在学中、中途退学又は通信教育等にかかわらず算定することができます。放送大学も同様に算定できます。また、複数の大学等において単位を修得した場合は、それぞれの単位を通算することができます。
- [2] の「単位修得証明書」は、書式例 2 を参照してください。
- [3] の「乙種危険物取扱実務経験証明書」は、事業主等の証明書です。受験願書の B 面裏の様式を使用してください。
- 旧大学、旧専門学校、高等師範学校、実業学校教員養成所等の卒業者及び単位修得者、専門学校卒業程度検定試験合格者も受験資格を有する場合があります。詳細はお問合せください。
- 過去に甲種危険物取扱者試験の受験申請をした者は、その時の受験票若しくは受験票（控）又は試験結果通知書を提出することにより受験資格の証明書に代えることができます。（コピー可）
- 「願書資格欄記入略称」は、受験願書の「甲種受験資格」欄に記入するものです。

別表 1

化学に関する学科等の例

- 1 名称の一部に「化学」の字句が含まれる学科又は課程
(ただし、明らかに「化学に関する分野」と認められないものは除く。(例) 人類文化学科等)
- 2 次の表に示す学科又は課程等

化学に関する学科又は課程等の名称									
ア	安全工学科	コ	工業材料科	セ	製造薬学科	フ	物質生物科学科		
イ	医療薬学科		厚生薬学科		生体機能応用工学科		物質生物工学科		
エ	衛生薬学科		高分子学科		生体物質工学科		物質生命工学科		
オ	応用原子核工学科		高分子工学科		生体分子工学科		物質生命システム工学科		
	応用生物科学科	サ	高分子材料工学科		生物応用工学科		物質分子科学科		
	応用生物工学科		材料開発工学科		生物機能工学科		物質分子学科		
	応用生命科学科		材料科学科		生物工学科		物質理工学科		
	応用生命工学科		材料科学工学科		生物資源科学科		プロセス工学科		
	応用微生物工学科		材料加工学科		生物資源利用学科		分子工学科		
カ	環境生命科学科		材料学科		生物生産科学科		分子システム工学科		
	環境物質工学科		材料機能工学科		生物分子科学科		分子生物学科		
	環境マテリアル学科		材料工学科		生物薬学科		分子生命科学科		
キ	基礎理学科		材料物性学科		精密素材工学科	マ	分子素材工学科		
	機能高分子学科		材料物性工学科		精密物質学科		マテリアル科学科		
	機能高分子工学科		材料プロセス工学科		生命理学科		マテリアル工学科		
	機能材料工学科		シ		色染工芸学科	製薬学科	ム	無機材料工学科	
	機能物質科学科	資源工学科		繊維工学科	ヤ	冶金学科			
	機能分子工学科	資源素材工学科		繊維高分子工学科		冶金工学科			
	金属加工学科	システム量子工学科		ソ		総合薬学科		薬科学科	
	金属学科	食品科学科				総合薬品科学科		薬学科	
	金属工学科	食品学科			素材工学科	薬剤学科			
	金属材料学科	食品工学科		ト	塗装科		薬品科学科		
	金属材料工学科	食品工業科学科	ハ		醗酵工学科		ユ	有機材料工学科	
ケ	原子工学科		食料科学科	フ	醗酵生産学科	ヨ	窯業工学科		
	原子力科		森林資源科学科		リ		林産学科		
	原子力工学科		製剤学科					物質科学科	林産工学科
	原子炉工学科		製糸学科					物質科学工学科	物質工学科

別表 2

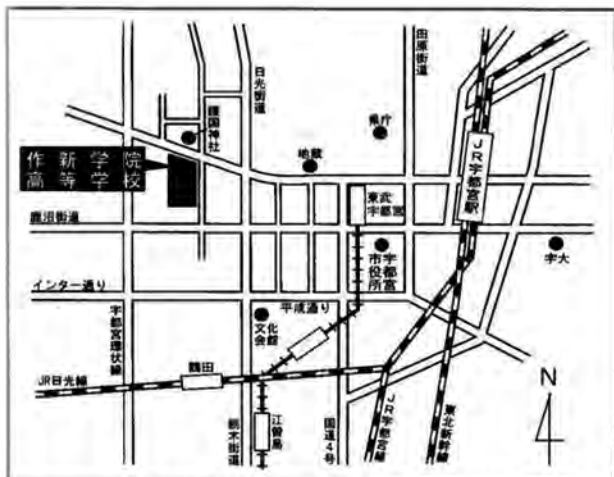
化学の授業科目例

- 1 名称の一部に「化学」の字句が含まれる授業科目
(ただし、明らかに「化学に関する分野」と認められないものは除く。(例) 進化学等)
- 2 次の表に示す授業科目

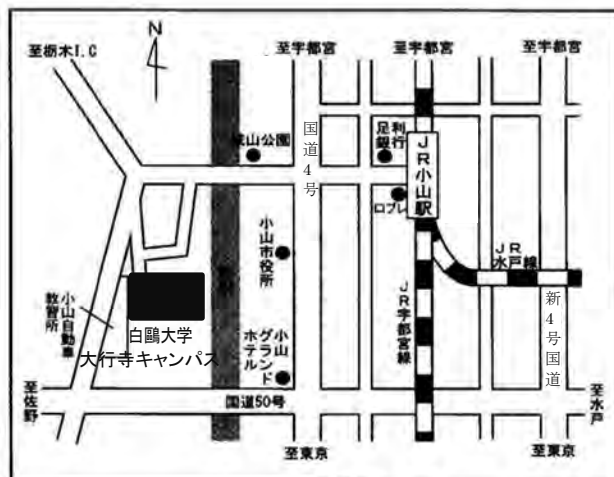
化学の授業科目の名称							
ア	アモルファス物性工学	エ	エレクトロニクス材料工学	カ	化工熱力学	キ	官能基変換論
	安全管理学	オ	応化・プロセス工学		化工物理学		機器分析
	安全工学	カ	回折結晶学		化工流体工学		機能高分子学
	安全防災工学		界面工学		化石エネルギー		機能性高分子材料学
イ	移動現象論		界面制御学		火薬学		機能性材料工学
	移動速度論		界面電子工学		ガラス工学		機能性触媒工学
	医薬品安全性学		界面物性		ガラス材料		機能性有機材料
	医薬分子設計学		科学史		ガラス状態論		機能セラミック論
	医用高分子機能学		核燃料工学		ガラス物性		凝固論及び結晶生成
エ	衛生工学		核燃料サイクル特論		環境汚染物質分析学		金相学
	衛生薬学		核融合概論		環境物質工学		金属学
	栄養学		核融合工学概論		感光物性論		金属加工学
	エレクトロセラミックス		化工熱工学		岩石学		金属工学

化 学 の 授 業 科 目 の 名 称								
キ	金属材料学	サ	材料加工学	セ	ト	毒劇物理学		
	金属材料工学		材料強度学		生物工学	特殊機能セラミックス		
	金属製錬学		材料強度物性学		生物資源科学	毒性学		
	金属組織学		材料結晶学		生物資源利用学	毒物学		
	金属の相変態		材料工学		生物反応工学	土壌学		
	金属表面処理		材料構造解析学		生物物性学	塗装学		
	金属物性		材料精製工学		生物分子科学	塗料工業科学		
	ケ		計算溶液特論		材料精密工学	精密材料物性	二	ニューセラミック学
結晶回折		材料組織学	精密素材工学	ネ	燃烧学			
結晶材料工学		材料組織形成論	精密分離工学		燃烧工学			
結晶評価工学		材料熱力学	精密有機合成特論		燃烧熱工学			
原子エネルギー工学		材料反応学	製薬学		燃烧物理科学			
原子核工学		材料物性学	生理活性物質学		粘土工学			
原子力工学		材料物理工学	精錬漂白論		燃料工学			
原子炉材料学		材料プロセス設計	石油開発工学		燃料工業			
原子炉燃料	錯塩基及び酸化還元	石油生産工学	燃料燃烧潤滑論					
コ	高温材料	シ	産業廃水処理	ソ	ノ	燃料燃烧論		
	高温反応工学		色彩工学			接着学	燃料分析学	
	光学活性体合成論		色染実験			接着及び接着剤	ハ	農薬学
	高機能材料特論		システム安全工学			接着学		バイオテクノロジー
	高機能材料プロセス特論		焼結固体反応論			セメント工学		バイオブロセス工学
	工業火薬学		焼成材料			セラミック科学		培養工学
	工業材料		醸造学			セラミック基盤材料		爆発工学
	工業排水処理		醸造工学			セラミック工学		薄膜材料工学
	工業爆薬学		醸造工業概論		セラミック材料学	醗酵学		
	工業反応速度論		状態方程式特論		セラミックス概論	醗酵工学		
	工業微生物学		触媒工学		セラミックス材料工学	醗酵工業論		
	工業分析		触媒設計		セラミックス電子材料	醗酵生産学		
	格子欠陥		触媒反応工学		セラミックプロセスング	パルプ学		
	公衆衛生学		食品衛生学		セルロース科学	パルプ工学		
	高重合反応		食品栄養学		繊維高分子工学	半導体工学		
	合成鉱物		食品科学		選鉱学	半導体材料		
	抗生物質		食品工学		先端材料物性特論	半導体デバイス工学		
	厚生薬学		食品工業微生物学		タ	相平衡論	反応工学	
	合成薬品製造学	食品分析学	相変態論	反応性物質材料				
	構造用金属材料	植物分子生物学	チ	素材工学	反応操作			
	酵素利用学	人工結晶		耐火物概論	反応速度論			
	鋼中非金属介在物	人造繊維工学	テ	耐熱材料特論	ヒ	非金属材料		
	鉱物学	新薬論		多結晶材料工学		非晶質科学		
	高分子科学	スセ	単位操作	微生物遺伝学				
	高分子学		単位反応学	微生物学				
	高分子工学		単結晶材料工学	微生物機能学				
	高分子合成		蛋白質工学	微生物工学				
	高分子構造		チ	超高温材料		非鉄材料学		
	高分子固体構造論			調剤学		非平衡論		
	高分子コロイド科学		テ	鉄鋼材料学	表面・界面工学			
	高分子材料学			鉄鋼表面处理	表面工学			
	高分子反応			鉄冶金	表面分析			
	高分子物性論			定性分析	肥料学			
	固相変態論			定量分析	フ	ファインケミカル工業分析		
	固体反応			電解製錬工学		複合材料機能学		
	固体表面科学			電解反応		腐食及び防食学		
	固体物性論			電気材料学		物質移動プロセス特論		
	固体平衡論		電気電子材料科学	物質科学				
	コロイド学		電気電子材料学	物質工学				
	サ		細胞培養学	電極反応論		物質構造解析論		
材料解析			電子材料	物質構造論				
材料開発工学		電子物性	物質生科学					
材料科学		伝熱工学	物質生物工学概論					
		ト	同位体地球科学					

1 7 試験会場案内図



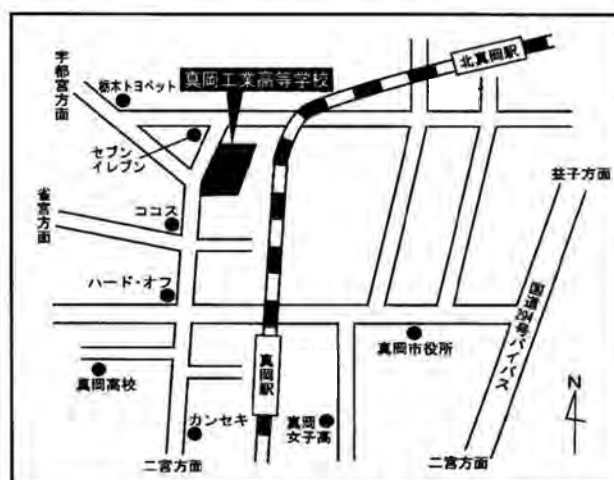
宇都宮市（作新学院高等学校）



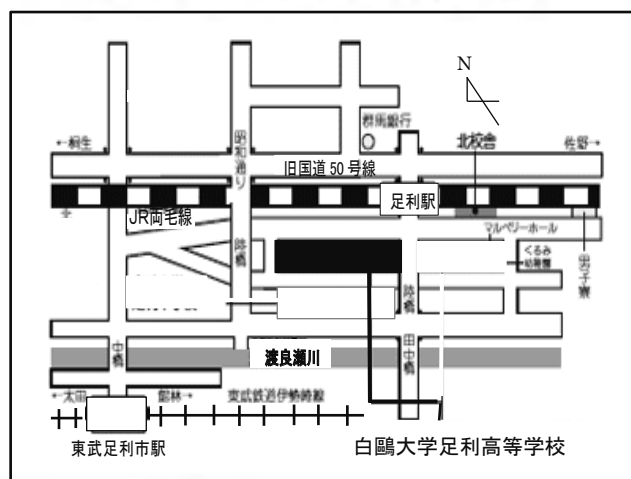
小山市（白鷗大学）



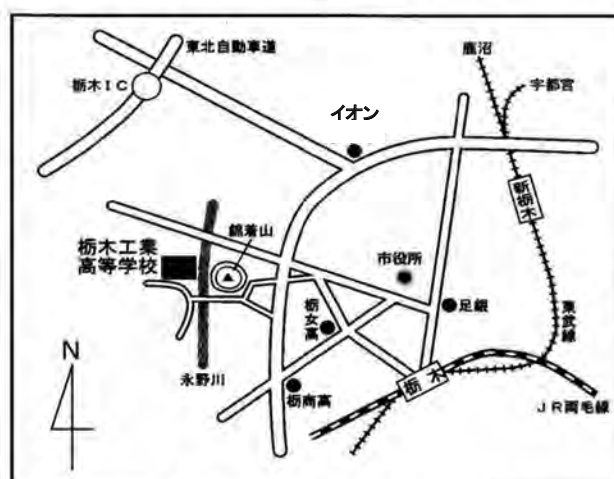
那須塩原市（那須清峰高等学校）



真岡市（真岡工業高等学校）



足利市（白鷗大学足利高等学校）



栃木市（栃木工業高等学校）

※試験会場は、すべて禁煙・車の乗り入れも厳禁です。また、会場周辺に無断駐車はしないでください。（無断駐車でトラブルが発生した場合には、試験を中断していただくことがあります。）

1 8 受験願書の記入要領 1 2 ページ以下の願書（写し）を合わせてご覧ください。

- (1) 受験願書は、**黒色のボールペン**で、かい書で正しく記入してください。
- (2) A 面及び B 面があり、複写式となっています。折ったり、曲げたりしないでください。
- (3) 書き損じた場合は横 2 本線を引いて、そのすぐ上に正しく書いてください。
- (4) 年月日を記入するすべての欄は、1 桁の数字の場合、前に「0」を付けてください。

A 面

- ① 都道府県名欄には「**栃木**」と記入してください。
- ② 申請日（願書を提出する日又は郵送する日）記入してください。
- ③ 左づめで記入し、氏名のフリガナの**濁点・半濁点は 1 マス使用**してください。
- ④ 左づめで記入してください。外国籍の受験者は、住民基本台帳に記載されている漢字又はパスポートに記載されているアルファベット氏名を記入してください。
- ⑤ 該当する元号に○を付け、生年月日を記入してください。
本籍の都道府県名を記入してください。外国籍の場合は、「外国籍」と記入してください。
本籍コードは、受験願書 B 面裏の都道府県等コードを必ず記入してください。
- ⑥ 郵便番号は正確に記入し、住所は現に居住している所を**都道府県名から記入**してください。ただし、**マスが不足する場合は郵便が届く程度に都道府県名から適宜省略**してください。
一行目は都道府県市区町村名、字名（例 栃木県宇都宮市昭和）
二行目は丁目、番地、号を略する。（例 1 丁目 2 番 3 号は 1-2-3）
三行目はアパート、マンション名、棟番号、部屋番号
- ⑦ 電話番号の局番等の間は、1 マス使用して「-」でつなげてください。
- ⑧ 勤務先・学校名等を記入し、職場又は自宅等で連絡の取りやすい電話番号（携帯電話も可）を記入してください。
- ⑨ 試験日を記入してください。
- ⑩ 受験する試験の種類に○を付けてください。**乙種の受験者は、受験する危険物の類**を記入してください。
- ⑪ 受験地は、試験案内の受験地（**市名**）を記入してください。例 足利市
- ⑫ 甲種の受験者は、受験資格を試験案内の[1 6 甲種危険物取扱者試験の受験資格]の表に記載された「願書資格欄記入略称」により記入するとともに、証明書類を受験願書 B 面裏の各種証明書貼付欄にのり付けしてください。 **6 ページを参照**
- ⑬ 乙種第 1 類又は第 5 類の受験者で火薬類免状を有する方は、該当する事項に○を付けてください。
なお、「受ける」に○を付けた場合には、火薬類免状のコピーを受験願書 B 面裏の各種証明書貼付欄にのり付けしてください。
既に乙種危険物取扱者免状の交付を受けている受験者は○を付け、乙種免状のコピーを受験願書 B 面裏の既得危険物取扱者免状貼付欄にのり付けしてください。
丙種危険物取扱者の受験者で、5 年以上消防団員として、かつ、消防学校の基礎教育又は専科教育の警防科を修了したものに該当する方は○を付け、消防団員歴証明書と消防学校の教育修了証明書を受験願書 B 面裏の各種証明書貼付欄にのり付けしてください。
- ⑭ 複数受験をする方は、この願書以外の受験種類を記入してください。
- ⑮ 書類等に不備があった場合の連絡手段として、メールによる連絡を希望する方はメールアドレスを記入してください。（携帯電話アドレス可）
なお、迷惑メール対策等の設定をしている方は、当支部からのメールが届くよう、ドメイン指定受信等の設定（ドメイン名 shoubo-shiken.or.jp）を行ってください。
- ⑯ 受験申請前 3 か月以内に①の都道府県以外で受験の申請又は受験した場合は、都道府県コード、試験種類、乙種試験に係る危険物の類、試験日を記入してください。
- ⑰ 現在の職業等で、該当する箇所○を付けてください。
- ⑱ 危険物取扱者免状の「有・無」に○を付けてください。
- ⑲ 危険物取扱者免状の交付を受けている場合は、該当する種類の元号コード（昭和：3 平成：4 令和：5）、免状交付年月日、交付番号、交付知事、都道府県コードを記入してください。なお、**免状のコピー（表面と裏面）を受験願書 B 面裏**にのり付けしてください。
- ⑳ 免状の写真下に記載されている 12 桁の番号を記入してください。
免状の書換えをしていない時には、免状番号のない場合があります、その時は未記入になります。

記入例
A面

11

危険物取扱者試験受験願書

危

①

②

一般財団法人 消防試験研究センター理事長 殿		都道府県名		栃 木		申請日		令和 0 5 年 0 0 月 0 0 日	
③ 申請者氏名		トチキ				サフ`ロウ			
④ 氏名		栃 木				三 郎			
⑤ 生年月日		大 昭 平 令 0 3 年 0 0 月 0 0 日生				本籍		栃 木 都道府県 本 籍 コード 0 9	
⑥ 郵便番号		3 2 0 - 0 0 3 2				⑦ 自宅電話番号又は携帯電話番号		0 2 8 - 6 2 4 - 1 0 2 2	
住 所		栃 木 県 宇 都 宮 市 昭 和 1 - 2 - 1 6 昭 和 ア パ ー ト 2 3 7 号				⑧ 勤務先名又は学校名 (株)〇〇石油 連絡先電話番号(携帯電話も可) 028 - 624 -1022 内線()			

切り離さないでください

⑨ 試験 日	令和 0 5 年 0 0 月 0 0 日
⑩ 試験 種類	① 甲 ② 乙 ③ 丙 種 第 〇 類
⑪ 受 験 地	宇 都 宮 市
⑫ 甲 種 受 験 格	実 務 2 年
⑬ 科目 免除	火薬類製造保安責任者免状又は火薬類取扱保安責任者免状による試験科目免除を (受ける) (受けない) 乙種危険物取扱者免状の交付を (受けている) 5年以上消防団員として勤務し、かつ、基礎教育又は専科教育の警防科を修了した者に (該当する)
⑭ 同時に複数の試験を受ける者は、この願書以外に受ける種類を記入すること	① 甲 ② 乙 ③ 丙 種 第 〇 類

⑮ メールアドレス(任意)	@
⑯ 他の都道府県での受験申請状況	
都道府県コード	試験種類
〇 〇	① 甲 ② 乙 ③ 丙 種 第 〇 類
〇 〇	① 甲 ② 乙 ③ 丙 種 第 〇 類
⑰ 該当する職業等に1つだけ〇を記入してください	
① 高校生	⑦ 危険物を扱うその他の事業
② ①以外の学生、教育・研究機関	⑧ 公務員
③ ガラリスト	⑨ 警備業
④ 化学工業	⑩ ビル管理業
⑤ 危険物の卸売業、小売業	⑪ その他
⑥ 危険物の運送業	

⑱ 免状取得の有無について記入してください	① 有 ② 無	免 状 番 号 ⑲	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
-----------------------	---------	-----------	-----------------------------

元号コード (昭和3 平成4 令和5)	免 状 交 付 年 月 日	交 付 番 号	※入力番号	交 付 知 事	コ ー ド
甲	〇 〇 年 〇 〇 月 〇 〇 日	〇 〇 〇 〇			
乙1	〇 〇 年 〇 〇 月 〇 〇 日	〇 〇 〇 〇			
乙2	〇 〇 年 〇 〇 月 〇 〇 日	〇 〇 〇 〇			
乙3	〇 〇 年 〇 〇 月 〇 〇 日	〇 〇 〇 〇			
乙4	4 〇 〇 年 〇 〇 月 〇 〇 日	00000		栃 木	0 9
乙5	〇 〇 年 〇 〇 月 〇 〇 日	〇 〇 〇 〇			
乙6	〇 〇 年 〇 〇 月 〇 〇 日	〇 〇 〇 〇			
丙	〇 〇 年 〇 〇 月 〇 〇 日	〇 〇 〇 〇			

(記入上の注意)

- 本用紙は、黒色のボールペンを使用し「かい書」で記入してください
- 本用紙を汚したり、折り曲げたりしないでください
- 枠は該当するものに〇を記入してください
- 免状番号は、免状写真下に記載されている番号です

※団体コード	〇 〇 〇	※受付機関コード	〇 〇	※分類コード	〇 〇 〇 〇	※	
--------	-------	----------	-----	--------	---------	---	--

記入例
B面

危険物取扱者試験受験願書

一般財団法人 消防試験研究センター理事長 殿		都道府県名	栃 木	申請日	0 5 年 0 0 月 0 0 日
申請者氏名	フリガナ トチキ `		サフ `ロウ		
	栃 木		三 郎		
生年月日	大・昭 (平) 令 0 3 年 0 0 月 0 0 日生		本籍	栃 木 都道府県	
郵便番号	3 2 0 - 0 0 3 2		自宅電話番号 又は携帯電話番号	028 - 624 - 1022	
住所	栃 木 県 宇 都 宮 市 昭 和 1 - 2 - 1 6 昭 和 ア パ ー ト 2 3 7 号		勤務先等連絡先	(株)〇〇石油	
			連絡先電話番号	028 - 624 - 1022 内線()	

試験日	0 5 年 0 0 月 0 0 日
試験種類	(甲) 乙 丙 種 一 第 類
受験地	宇 都 宮 市
甲種受験資格	実 務 2 年
科目免除	火薬類製造保安責任者免状又は火薬類取扱保安責任者免状による試験科目免除を (受ける) 乙種危険物取扱者免状の交付を (受けている) 5年以上消防団員として勤務し、かつ、基礎教育又は専科教育の警防科を修了した者に (該当する)

※1 ①

※2 受験地

※3 資格

※4 免除

※5 複数

※6 併願

ここに「振替払込受付証明書」をはってください。

振替払込受付証明書(お客さま用)
1. 依頼人(郵便局)は、ゆうちょ銀行の依頼人

払込金額	加入者名	加入者番号
00170-3-136220	一般財団法人 消防試験研究センター	00170-3-136220

受験願書添付用

日 附 印

日附印なき証明書は無効
(払込人が消防試験研究センター)

※受付欄

① 所定の払込用紙を使って、試験手数料(甲種6,600円、乙種4,600円、丙種3,700円)を郵便局又はゆうちょ銀行の窓口で払い込んで下さい。

郵便局又はゆうちょ銀行の受付局日付印を確認し、振替払込受付証明書(お客さま用)受験願書添付用」を全面のり付けしてください。(振込用紙右端の赤枠部分)

注：本人用の「振替払込請求書兼受領書」では受付できませんので、注意してください。また、「振替払込受付証明書(お客さま用)受験願書添付用」を紛失しても、当センターでは責任を負えません。

紛失、汚損等した場合は、再度払込みの上、新たな「振替払込受付証明書(お客様用)受験願書添付用」を受験願書に貼り付けてください。

なお、再度払い込みをした後で、紛失した「振替払込受付証明書(お客様用)受験願書添付用」を発見し提出した時には、還付申請書により先に払い込まれた試験手数料をお返しします。

※団体コード □ □ □ □ □

※受付機関コード □ □ □ □ □

※分類コード □ □ □ □ □

(B面)

記入例
B面裏

各種証明書等貼付欄

この部分にのりづけしてください。
なお、この部分に「振替払込受付証明書」は貼付しないでください。

都道府県等コード表

北海道 01	福島 07	東京 13	山梨 19	滋賀 25	鳥取 31	香川 37	熊本 43
青森 02	茨城 08	神奈川 14	長野 20	京都 26	島根 32	愛媛 38	大分 44
岩手 03	栃木 09	新潟 15	岐阜 21	大阪 27	岡山 33	高知 39	宮崎 45
宮城 04	群馬 10	富山 16	静岡 22	兵庫 28	広島 34	福岡 40	鹿児島 46
秋田 05	埼玉 11	石川 17	愛知 23	奈良 29	山口 35	佐賀 41	沖縄 47
山形 06	千葉 12	福井 18	三重 24	和歌山 30	徳島 36	長崎 42	外国籍 99

②

乙種危険物取扱実務経験証明書

氏名	栃木 三郎		平成 3 年 00 月 00 日生
取り扱った危険物	第 4 類	品名	灯油
取り扱った期間	平成 29 年 00 月 00 日から 平成 31 年 00 月 00 日まで (2 年 00 月)		
製造所等の区分	・製造所 ・貯蔵所 ・取扱所		
上記のとおり相違ないことを証明します。			
証明年月日	令和 5 年 00 月 00 日		
事業所名	(株)〇〇石油		
証明者	役職	代表取締役	会社印
	氏名	宇都宮 太郎	
	電話	028 - 624 - 1022	
			証明者の私印

甲種危険物取扱者試験を受験する方は、各種証明書類（必要事項が記入されており、押印されているもの。）を貼付して下さい（消防法第 13 条の 3 第 4 項第 1 号及び第 2 号）。

② 「実務経験 2 年以上」の受験資格で甲種を受験する者は、会社等の証明が必要です。会社印及び証明者の私印の押印を忘れずに受けてください。他の証明書でも証明内容が充足していれば支障ありません。

他の受験資格で受験する者、甲種以外を受験する者は必要ありません。

③ 既得危険物取扱者免状（コピー）貼付欄

裏

表

③ 既に危険物取扱者の免状を交付されている者は、そのコピーをのり付けしてください。

《確認事項》

・すべての記入が終わったら

試験日、試験種類、受付締切日を確認のうえ、折り曲げずに必要書類を県内の消防局、消防本部及び消防試験研究センター栃木県支部に郵送又は持参してください。

ただし、第3回の受付は（一財）消防試験研究センター栃木県支部のみです。

・受験票について

書面申請—試験日の約10日前に圧着した葉書（受験票）を発送します。

試験日の5日前になっても届かない場合は、消防試験研究センター
栃木県支部にご連絡ください。（連絡先 TEL028-624-1022）

電子申請—試験日の約10日前に申請時入力アドレスに受験票がダウンロードできる旨のメールが送信されますので、受験票をダウンロードしてください。

● ● ● 個人情報の取扱いについて ● ● ●

一般財団法人消防試験研究センター（以下「当センター」という。）は、危険物取扱者及び消防設備士試験の実施と免状作成業務を行っています。

当センターは、試験及び免状事業の実施機関として個人情報を取り扱っていますので、個人情報の重要性を十分認識し、その保護の徹底を図るとともに、個人情報の保護に関する法令及びその他の関連する規範を遵守し、収集した個人情報は、正確、かつ、安全に取り扱います。

1 当センターの個人情報の内容と利用目的は次のとおりです。

① 個人情報の内容

氏名、生年月日、本籍、住所、電話番号、勤務先名、学校名、職業、顔写真、メールアドレス等です。

② 利用目的

利用は、本人確認、本人への通知・連絡、試験における座席への氏名表示、受験票への表示、結果通知書及び免状交付申請書、免状作成、免状交付状況に係る事項等の当センターの業務の範囲内で行います。

2 当センターは、利用目的を達成のため、当該情報を業務委託先に預託する場合があります。その場合の業務委託処理は、個人情報を保護するための措置及び業務委託先との責任関係の明確化を図るとともに、業務機器等の安全対策を確実に実施しています。

なお、個人情報の提供は、団体受験に関し当該団体代表者へ提供するもの及び法令等に基づくものに限定し適切に取り扱います。

問合せ先 一般財団法人 消防試験研究センター栃木県支部
〒320-0032 宇都宮市昭和1-2-16 栃木県自治会館1階
TEL028-624-1022 fax028-624-1658

キリトリ

〒320-0032

宇都宮市昭和1-2-16

栃木県自治会館1階

（一財）消防試験研究センター

栃木県支部 行

※ 消防試験研究センター栃木県支部に郵送する際、宛名ラベルとして切り取ってご使用ください。

受験願書は、折り曲げずに郵送してください。受付最終日の消印があるものまで受け付けます。

※ 郵送される際は、郵便料金を確認し郵送してください。料金が不足している場合は受け取ることはできません。